

岩手県宮古市

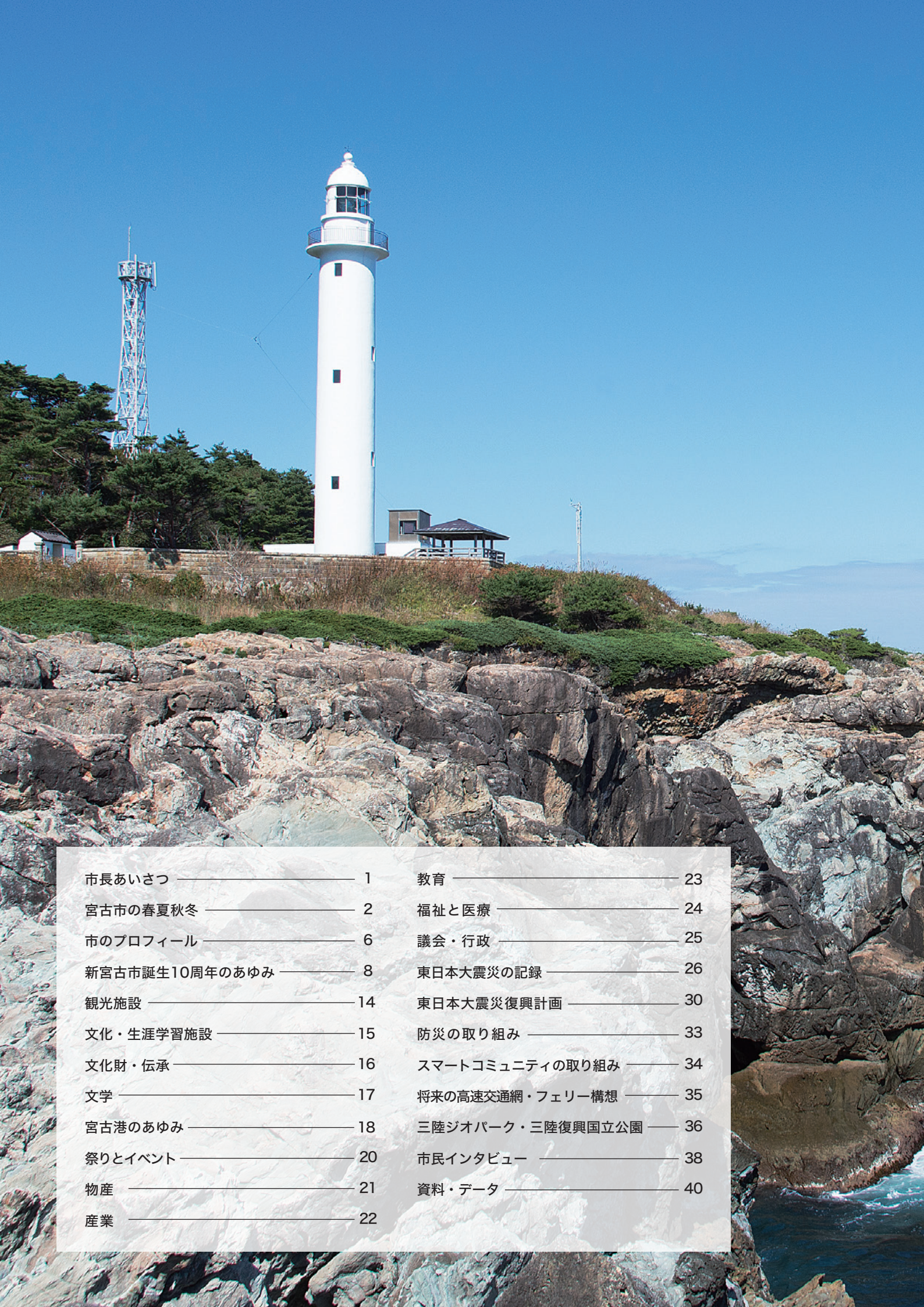


「森・川・海」とひとが共生する安らぎのまち

市勢要覧 2015

宮古市新市10周年記念





市長あいさつ	1	教育	23
宮古市の春夏秋冬	2	福祉と医療	24
市のプロフィール	6	議会・行政	25
新宮古市誕生10周年のあゆみ	8	東日本大震災の記録	26
観光施設	14	東日本大震災復興計画	30
文化・生涯学習施設	15	防災の取り組み	33
文化財・伝承	16	スマートコミュニティの取り組み	34
文学	17	将来の高速交通網・フェリー構想	35
宮古港のあゆみ	18	三陸ジオパーク・三陸復興国立公園	36
祭りとイベント	20	市民インタビュー	38
物産	21	資料・データ	40
産業	22		

市長あいさつ

「住めば、みやこ」の言葉どおり、古くから人が住むための環境に恵まれたまち、宮古市。

本州最東端に位置する当市は、平成17(2005)年6月6日、宮古市・田老町・新里村の合併により誕生しました。平成22(2010)年1月1日には、川井村が新しいまちづくりに加わりました。

現在の人口は約5万6千人、面積は約1260平方km。海岸部に目を向けると、名勝・浄土ヶ浜を有する「三陸復興国立公園」。山間部には、高山植物の宝庫として名高い北上山地の最高峰・早池峰山を中心とした「早池峰国定公園」。これら二つの自然公園を結ぶ閉伊川など、豊かな自然に恵まれているのが当市の特徴です。

平成25(2013)年に、ここ三陸の地は「三陸ジオパーク」として、地球や大地の成り立ちを知ることのできる日本ジオパークにも認定されております。

さて、平成23(2011)年3月11日に発生した東日本大震災では、大津波により当市の多くの尊い命、貴重な財産が奪われました。以来、全国の皆さまから多大なるご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

平成27(2015)年、当市は誕生から10年、宮古港開港から400年の記念すべき年となり、全国から多くの皆さまをお迎えし、復興へ歩む当市の姿をご覧くださいいております。

この要覧は、市勢の一端を紹介したものであり、市の将来像に掲げる『「森・川・海」とひとが共生する安らぎのまち』の実現へ進む当市のまちづくりをご理解いただく一助になれば幸いです。

平成27(2015)年12月



宮古市長
山本 正徳

